

甑島国定公園の指定案及び公園計画案の概要

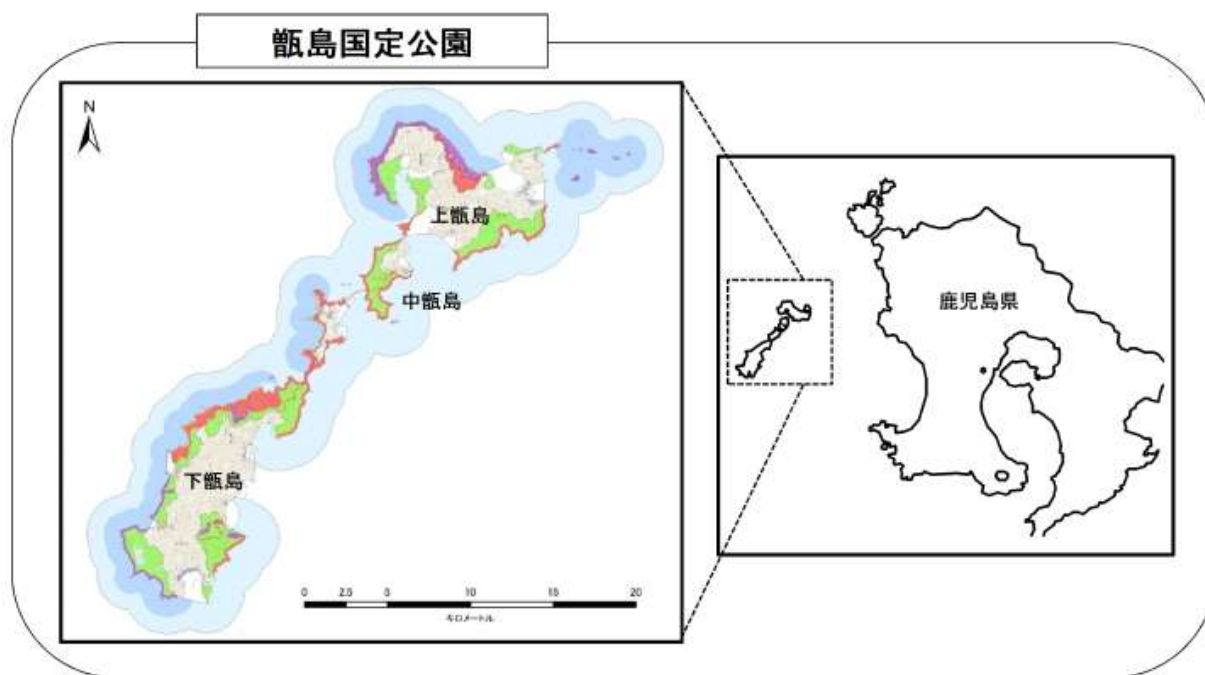
1. 背景

甑島は、鹿児島県の薩摩半島の西方約 30km の東シナ海上に位置し、上甑島・中甑島・下甑島その属島群で構成される地域で、豪壮な海食崖地形や特異な砂州と潟湖群、リアス海岸など多様な海岸景観を有するとともに、海岸部から最高で標高約 600m の稜線部まで照葉樹林が発達するなど優れた自然の風景地で、これらの一部は、昭和 56 年 10 月に甑島県立自然公園に指定されています。

その後、甑島周辺沿岸が日本の重要湿地 500 に、上甑島の海鼠池及び貝池がラムサール条約湿地潜在候補地に選定されるなど、甑島の自然環境は高く評価されています。また、鹿島断崖に見られる「甑島の白亜紀—古第三紀層」が日本の地質百選に、「甑島の鹿の子断層」が日本の地質構造 100 選に選定されています。

このような評価を受けて、甑島の海域を含む自然環境に関する情報をさらに収集し、自然資源の再評価を行った結果、甑島及びその周辺海域について、優れた景観を有する地域として、新たに国定公園に指定するものです。

なお、既に甑島県立自然公園に指定されている地域の一部は本国定公園の区域に編入し、県立自然公園の指定を解除します。



2. 指定理由・公園計画の基本方針等

- ・甑島は、次の風景形式の中で、優れた自然の風景を有する地域であるため、国定公園に指定するものです。また、景観要素と本国定公園の特徴を簡潔に表したテーマは次のとおりです。

風景形式 : 甑島列島形成の過程を物語る多様な海岸景観、イシサンゴ類を主体とするサンゴ群集の海域景観、南方系、北方系及び満鮮系の多様な植物相が見られる照葉樹林

主な景観要素：海食崖、海食洞、岩礁、砂州と潟湖、リアス海岸、多種多様な化石、
海岸植生、多島海、照葉樹林、湿地生態系、サンゴ群集

テーマ：太古の地球を感じる宝の島

- ・公園計画については、多様な海岸景観の保全を図り、適正な利用を推進するため、保護規制計画及び利用施設計画を設定します。

3. 公園区域

優れた海岸景観を構成する陸域、海岸景観と一体をなす森林地域、希少種の生息が確認されているなど植物の生育地として重要な地域、海岸景観と一体的に海域景観を維持するための海域を公園区域とします。

4. 保護規制計画

特に自然性が高く優れた景観を有する海岸、希少な野生生物の生息・生育地となっている自然性の高い地域を中心に保護を図ります。また、海岸の汀線から1kmの範囲を海域公園地区とし、海岸景観と一体的な海域景観とサンゴ群集が見られる海中景観の保護を図ります。

5. 利用施設計画

利用者が本公園の特徴である海食崖や多様な海岸景観、豊かな自然環境を堪能できるように次の利用施設を計画します。

(1) 単独施設

園地：19箇所（上甕島6箇所・中甕島2箇所・下甕島11箇所）

野営場：3箇所（上甕島1箇所・下甕島2箇所）

(2) 道路

車道：5路線（公園予定区域内の既存の道路，藪牟田瀬戸架橋を含む）

歩道：2路線（公園予定区域内の既存の登山道及び遊歩道）

6. 参考（公園面積）

地種区分		県立自然公園	国定公園	面積増減
陸域	特別保護地区	—	86	+86
	第1種特別地域	195	795	+600
	第2種特別地域	861	1,498	+637
	第3種特別地域	759	3,010	+2,251
	普通地域（陸域）	644	58	△586
	計	2,459	5,447	+2,988
海域	海域公園地区	—	6,759.7	+6,759.7
	普通地域（海域）	—	18,528	+18,528
	計	—	25,287.7	+25,287.7